

「生駒市の教育課題について WS」

意見まとめ

基本方針全般

- ・基本方針の概念の定義付けをもっと明確にすれば、現場での方向性も一致しやすい

基本方針1 「人」

- ・学び方を学ぶ学校づくり
- ・誰もが楽しい毎日を過ごせる学校づくり
- ・1人ひとりの子どもを大切にす
- ・すべての施策を子どもが主役として再定義し、教育の方向性を明確にする必要
- ・楽しい授業づくり
- ・一斉授業から個別最適な学びや協同的な学びへの改善の遅れ、特に中学校における教員の授業観や指導観のアップデートの必要性。
- ・学校に関わる人々が対等な立場で考える体制を整える必要
- ・主体的で深い学びへの授業改善や個別の教育が行われていない
- ・教育の根本は問答にあると考え、主体的・対話的な学びが重要
- ・教育において本当に必要なことに焦点を当て、余分な業務を減らし、多様な学校や教育スタイルを共有することで魅力的な教育環境を作りたい
- ・授業改善を通じて主体的で対話的な学びを促す必要があり、児童生徒の参加意欲や学校への通学意欲の向上が期待される
- ・多様かつ個別の対応が求められている
- ・特別支援学級の配置や教育活動の目的が共有されておらず、教員間の情報共有が不足
- ・子どもの居場所・学び支援室へのアクセスの問題、引きこもりへの支援、不登校という概念の扱い方に関する具体的な戦略や計画の欠如、画一的な価値観や学力観による子どもの苦境。
- ・異なるニーズを持つ子どもたちに対応する場所や人材の確保が必要であり、保護者への支援も重要
- ・子どもたちのチームづくり(孤立化させない、協働的な学びが大事、学年担任制)
- ・自己を大切にすることが他人や地域を大切にすることに繋がる
- ・「自分がなりたい自分」になれる土台を作る
- ・次の学校段階への入学や受験指導から脱却し、個々の特性に合わせた力を育成する必要

基本方針2 「地域」

- ・更に機能するコミュニティスクールの推進
- ・地域コーディネーターの役割が重要であり、学校と地域の連携を強化する必要

基本方針3 「環境」

- ・学校現場の再構築には、教育現場で働く大人の役割や業務内容、教育環境の再定義が必要

